



NPO 法人ファミリーサポート 愛さん会ニュース!

2020.8.14 No.69

発行者

NPO法人ファミリーサポート愛さん会

発行責任者 平良 博子

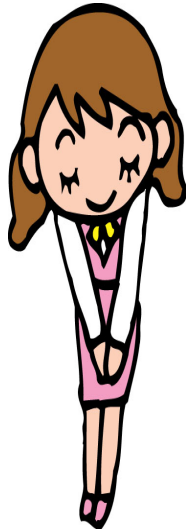
〒902-0075 那覇市国場 221-2

TEL(098)851-7304

**愛さん会令和元年総会を
書面決議方式にて開催!**

新型コロナウイルス感染症拡大はとどまるどころか県内全域へと拡がり、直近1週間では、人口10万人当たりの新規感染者数は42.90人で、全国最多となつています。会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか? 「コロナに負けるな」を合言葉にこの危機を乗り越えましょう。

さて、NPO法人ファミリーサポート愛さん会は、「令和2年定期総会を書面決議方式」による総会へ変更し開催しました。総会につきましては、定款第27条「定足数・総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない」及び第28条「議決・総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。②総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」に基づいて行いました。参加者(書面による)は愛さん会正会員50名中41名、書面表決は34名で議案はすべて承認されました。



愛さん会会員の皆さん、新型コロナウイルス感染拡大防止のため引き続き不要不急の外出を控え、「3密」を避け、手洗いやマスク着用を心がけ、この難局をみなで乗り切ってくださいましょう。

愛さん会地域ふれあい会!

行事予定表

目的: 地域のお年寄りや子どもたちに軽食を提供し、交流を図ることが目的
実施期日: 2020年8月15日(土) 11:00~
会場: 愛さん会事務所(那覇市上間)
実施内容: 愛さん会事務局職員で準備したお弁当を当該施設へ配布
主催: NPO法人ファミリーサポート愛さん会



品種改良は見た目の良さだけではない!

おいしさや色、形、高い収穫量、病気や寒暖差への耐性など、生産者や消費者が望む新しい特性をもった品種を開発することを品種改良といいます。現在、私たちが食べている食材は、もともと自然界に自生していたものですが、それを人間が栽培することで、食べやすいように改良してきました。スーパーなどで売られている野菜は、長年の品種改良によりつくり変えられたものばかりです。品種改良は、別々の品種をかけ合わせることで新しい品種を生み出す、交配育種が基本です。改良には多くの時間と労力がかかりますが、病害虫に強い品種に改良すれば、農薬の使用量を減らすことができるため、栽培コストの軽減になり、より安全性の高い作物を生産できます。品種改良によって、例えば、トマトは甘くなり、キャベツは食べられる葉の量が増え、バナナは種がなくなるなど、おおくの食品がよりおいしくて食べやすいように品種改良が行われてきました。しかし、失われているものもあります。例えば、野菜の機能性成分であるポリフェノールです。ポリフェノール系の物質は、植物が病気や害虫、気候に対抗するための防衛成分としてつくり出している物質ですが、人間にとって苦味に感じられるため、品種改良では苦味を抑えるためにポリフェノール系の成分を減らすように改良されているという歴史もあります。ただし、野菜にはさまざまな成分が含まれているので、1つの種類にこだわらずそれぞれの野菜を組み合わせることで、成分が偏ることなく改善することができます。